



平成 24 年 1 月 1 日  
ユアサ商事株式会社  
代表取締役社長 佐藤悦郎

## 年頭所感

---

### 「復活の年」全力を尽くす

年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2012 年は日本にとって「復活の年」であります。東日本大震災では住宅や社会インフラなどの建設関連分野が甚大な被害を受けましたが、今年は本格的な復興に向けた街づくり、家づくりが大きく進みます。また、昨年タイで発生した大洪水の影響により、日本の製造業は生産低下を余儀なくされましたが、今年は自動車や電機など裾野が広い産業界が、世界シェアの奪回に向け大きく踏み出す一年ともなります。

また昨年は歴史的な円高が日本の輸出産業に大きな影響を及ぼしましたが、日本は既にグローバル化の波の中にあり、円高に対応しそれに打ち勝たなければなりません。今年も製造業の海外移転は、コスト低減、日本の電力事情、製造拠点の分散化、現地生産・現地販売へのシフト等を要因として加速すると思われませんが、私たちもこの流れに順応し、日本企業の力をあらためて世界にアピールしなければならないと思います。

「アジアの産業とくらしに貢献するユアサ商事」としては、今こそ全力を尽くすときと考えております。そのためには、販売先様、仕入先メーカー様との協力、努力が不可欠でございます。何卒ご理解とご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、私が今最も関心を寄せておりますのは「国のエネルギー政策」であります。この政策の内容、良し悪しが今後の私どもの活動に大きく影響するだけでなく、広く言えば日本の針路を左右するものと思うからです。今年も電力事情が大きく改善されるとは考えにくく、様々な産業や個人の生活に大きな制約が出ることが予想されます。一方で「節電」をテーマとした新しい取り組みや新ビジネスが多く生まれる年となるでしょう。

また「先行不透明」とよく言われますが、振り返ってみれば「平穏無事」と言われる期間は短く、常に経済面で何かが起こり、また変化しています。変化を当然のことと受け止め、自らの目で先を見通し、できる限りの準備を怠らないことを肝に銘じ、取り組んでまいりたいと思います。

最後になりましたが、皆様にとって希望と幸福に満ちた素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

(922 文字)